

## 平成 30 年 7 月豪雨災害被災圃場における水稲収穫作業の留意点

西部農業技術指導所  
農業革新支援担当

7 月豪雨災害の影響により、法面や用水路・畦畔が崩れやすくなっています。収穫作業を行う前には、必ずほ場および周辺の状況を事前に確認し、安全を確保してください。

### 1 収穫前の留意点

- ・ 収穫可能と判断した場合は、コンバイン破損の原因となるほ場内の石、木材等の流入物を事前に除去する。
- ・ 土砂が流入したほ場は、コンバイン作業が可能なほ場の硬さを確保するため、通常よりもやや早めの落水を行う。
- ・ 土砂流入により地表面に出ている水稲の草丈が、**60cm** 以下の場合、あるいは、片足のかかるとに体重をかけ、**20cm** 以上沈むような場合は、コンバインによる収穫作業は困難である。
- ・ 早めの落水により、ほ場の硬さが確保できた後は、枯熟れにならないように、必要に応じて走り水による灌漑を行う。
- ・ 収穫物にゴミの混入がないよう、茎葉のゴミはあらかじめ取り除いておく。

### 2 収穫時の留意点

- ・ 収穫作業に入る直前に、再度ほ場内に入り、ほ場の硬さが十分で、流入物がないことを確認する。
- ・ 株元の流入物が除去できない部分は、収穫物への混入防止のために、高刈りや別刈り、収穫断念の判断を行う。
- ・ ほ場内で熟れムラがある場合は、ほ場内の平均的な成熟程度の水稲に合わせて、収穫時期を判断する。